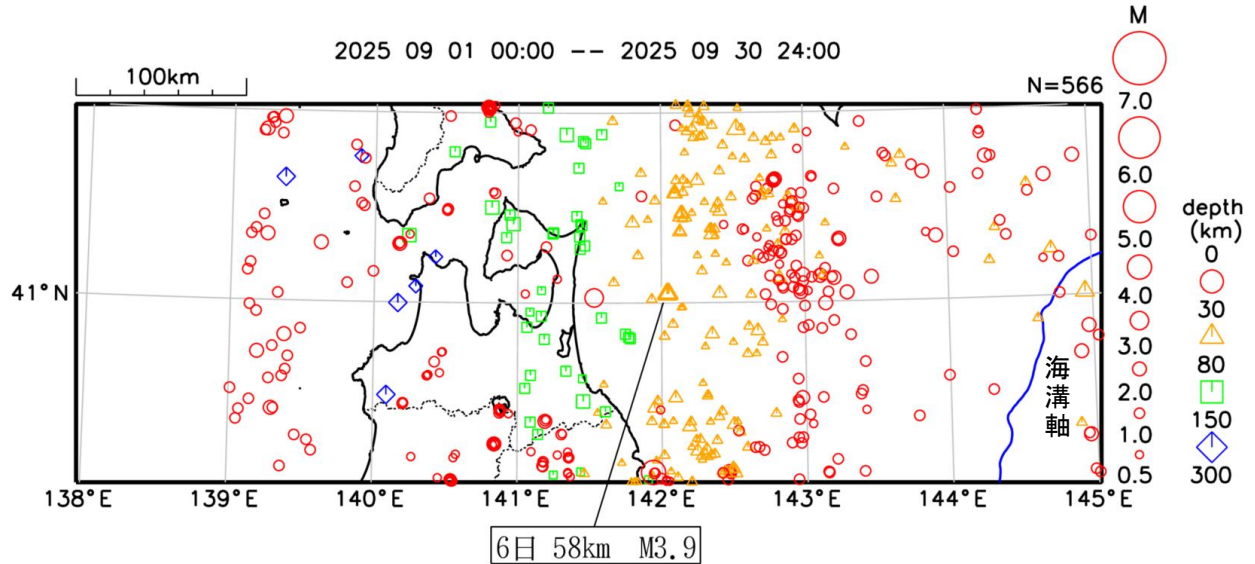


青森県月間地震概況

2025年9月

青森地方気象台

震央分布図



震央：震源（地下の岩盤破壊が最初に始まった点）の真上に向かって地表に投影した点
M（マグニチュード）：地震の規模
吹き出しをつけた地震は概況で取り上げたもの。

【9月の地震概況】

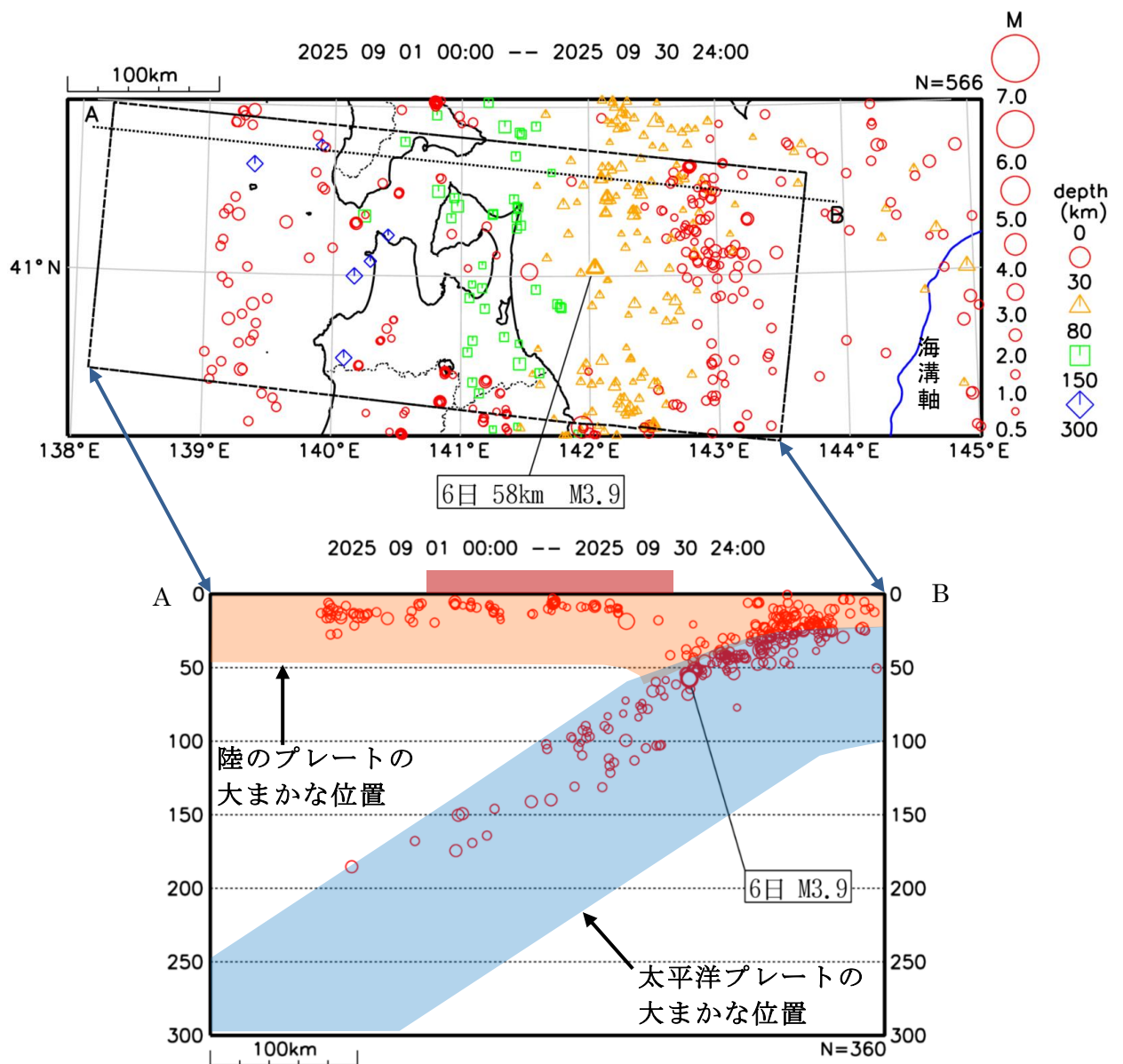
今期間、青森県内で震度1以上を観測した地震は5回（8月：11回）であった。このうち、青森県内で震度3以上を観測した地震は0回（8月：1回）であった。

6日12時48分に青森県東方沖の深さ58kmでM3.9の地震が発生し、青森県と岩手県で震度2～1を観測した。県内では、八戸市、東通村で震度2を観測するなど、三八上北と下北で震度2～1を観測した。

震度分布：<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/#20250906124846>

各地の震度は「青森県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。なお、震源要素等は、再調査により変更することがある。

断面図（震央分布図内の破線領域内のA点からB点の断面における震源の深さ）



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域（概ね陸地から200km以遠）ほど、震源の深さに関する精度は良くない。なお、沖合の地震の震源は、実際はより浅いところのことが多いと考えられる。

青森県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2025年 9 月 1 日～2025年 9 月30日

発 震 時	震 央 地 名	北 緯	東 経	深 さ	規 模
各地の震度					
2025年09月06日02時51分	青森県東方沖	41° 01.6′ N	141° 31.8′ E	19km	M3.3
青森県 震度 1 : 五戸町古館 五戸町倉石中市＊					
2025年09月06日11時56分	青森県三八上北地方	40° 22.6′ N	141° 11.4′ E	8km	M2.0
青森県 震度 1 : 三戸町在府小路町＊					
2025年09月06日12時48分	青森県東方沖	41° 02.8′ N	142° 02.6′ E	58km	M3.9
青森県 震度 2 : 八戸市湊町 東通村砂子又沢内＊					
震度 1 : 平内町小湊 平内町東田沢＊ 八戸市内丸＊ 八戸市南郷＊ 三沢市桜町＊					
野辺地町田狭沢＊ 野辺地町野辺地＊ 七戸町森ノ上＊ 横浜町林ノ脇＊					
東北町上北南＊ 東北町塔ノ沢山＊ 六ヶ所村出戸 五戸町古館 青森南部町苫米地＊					
階上町道仏＊ むつ市大畑町中島＊ 東通村砂子又蒲谷地 東通村白糠＊					
2025年09月21日06時47分	岩手県沖	40° 06.4′ N	141° 56.3′ E	16km	M4.3
青森県 震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸＊ 八戸市南郷＊ 三戸町在府小路町＊ 五戸町古館					
青森南部町苫米地＊ 青森南部町平＊					
2025年09月28日11時45分	青森県東方沖	41° 27.5′ N	142° 08.8′ E	52km	M3.7
青森県 震度 1 : 東通村砂子又沢内＊					

（注）地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。
各地の震度は青森県のみを示し、＊は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

11月5日に緊急地震速報の訓練を行います

地震による揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間のごくわずかであり、その短い間に、慌てずに身を守るなどの防災対応をとるためには日頃からの訓練が重要です。この機会に身を守る行動を実践してみましょう。

◆訓練実施日時

令和7年11月5日（水）10時00分頃（気象庁からの訓練用緊急地震速報の配信時刻）

気象庁は訓練の実施を計画している機関や団体等に対して訓練用の緊急地震速報（予報および警報）を配信しますが、基本的には、テレビやラジオ、携帯電話（緊急速報メール/エリアメール）で訓練用の緊急地震速報が放送又は報知されることはありません。

※ 気象・地震活動の状況等によっては、訓練用の緊急地震速報の配信を急きょ中止する場合がありますので、御了承ください。中止を決定した場合には、速やかに気象庁ホームページ等でお知らせします。

◆参加機関等

国の機関、地方公共団体、学校、民間企業等、個人

お住まいの自治体の防災行政無線や商業施設などで緊急地震速報が放送される場合があります。自治体からのお知らせ、気象庁ホームページ等でご確認ください。

◆訓練の方法

訓練参加機関（国の機関、地方公共団体、学校、民間企業等）が行う緊急地震速報の放送・報知にあわせて、安全な場所に移動するなどの身の安全を守る行動訓練を行います。訓練参加機関のホームページや広報誌などのお知らせをご確認いただくとともに、積極的に訓練へご参加ください。

◆緊急地震速報訓練と連携したシェイクアウト訓練も実施されます

「効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議」（日本シェイクアウト提唱会議）では、今回の訓練に合わせた全国的なシェイクアウト訓練の実施について呼びかけを行っています。

指定された日時に、地震から身を守るための3つの安全確保行動

「①まず低く、②頭を守り、③動かない」

を各人がいる場所（職場、学校、外出先等）で約1分間行うというものです。



3つの安全行動（提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議）

もし、あなたが〇〇中に地震が発生したらどうしますか？

そのとき、あなたの身を守るために、シェイクアウト訓練に参加しましょう！

- ・効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

<https://www.shakeout.jp/>

- ・気象庁ホームページ「緊急地震速報の訓練（令和7年11月5日）」

https://www.jma.go.jp/jma/press/2510/07a/20251007_eewkunren.html

◆緊急地震速報を見聞きしたらどうすればいいのか？

緊急地震速報を見聞きしたら、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてず、まず身の安全を確保する」ことが基本です。周囲の状況により具体的な行動は異なります。日頃からいざというときの行動を考えておきましょう。



さんきゅうじ しんそくほう み き
緊急地震速報を見聞きしたら…
(地震の揺れを感じなくても)

しゅう い じょうきょう おう
周囲の状況に応じて

**あわてず、
まず身の安全を!!**



じしん ゆ かん
地震の揺れを感じたら…
(緊急地震速報がなくても)

 **家庭では**

- 頭を保護し、机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- むりに火を消そうとしない



 **鉄道・バスでは**

● つり革、手すりにしっかりつかまる



 **エレベーターでは**

● 最寄りの階に停止させ、すぐにおりる



 **屋外(街)では**

- ブロック塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意



 **自動車運転中は**

- 急ブレーキはかけずゆるやかに速度をおとす
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす

緊急地震速報



気象庁リーフレット「新しい緊急地震速報～長周期地震動階級の子想も追加して発表～」より

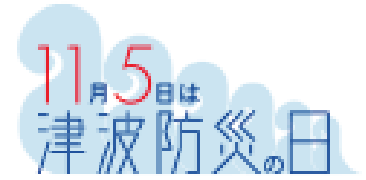
・気象庁ホームページ「緊急地震速報について」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/eew/index.html>

11月5日は津波防災の日です

「津波防災の日」とは、平成23年3月に発生した東日本大震災を教訓とした「津波対策の推進に関する法律（2011年6月制定）」により、津波対策についての理解と関心を深める目的として定められた日です。

江戸時代（安政元年11月5日）に大きな津波被害をもたらした「安政南海地震」（M8.4）が発生した日にちなみ、11月5日を「津波防災の日」としています。



津波は迅速かつ適切な避難により人的被害を大きく軽減できる災害です。このため、国民一人一人が津波の特性を理解し、命を守る行動を適切にとっていただくことがとても重要です。

津波への備えについて考えるきっかけとして、全国各地で「津波防災の日」に関する各種イベントや津波避難訓練も実施されますので、ぜひご参加ください。



内閣府 11月5日は「津波防災の日」「世界津波の日」のページより

- ・内閣府ホームページ 11月5日は「津波防災の日」「世界津波の日」

https://www.cao.go.jp/press/new_wave/20231027.html

- ・内閣府ホームページ 「稲村の火と津波対策」

<https://www.tokeikyou.or.jp/bousai/inamura-top.htm>

- ・気象庁ホームページ「稲むらの火」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami/inamura/p1.html>